

彦根市をとりまく状況

※●の項目は彦根市の現況、○の項目は時代の潮流

人口減少・少子高齢化の進行

- 彦根市は人口増加傾向、概ね社会増の傾向、将来人口は減少傾向と推計
- 彦根市においても少子高齢化が進展

価値観・ライフスタイルの多様化とコミュニティの変化・生活様式の転換

- 多様性の尊重、地域コミュニティ衰退、コロナ後の社会の生活様式転換等への対応
- 彦根市において外国人住民数は増加傾向

社会経済構造の変化

- ICTの急速な普及・発達、グローバル化の促進、Society5.0の実現に向けた取組の推進

観光立国の実現

- 観光立国の取組が本格化していた中、コロナ後の社会における観光政策の再構築
- 彦根市は概ね年間 300 万人から 350 万人の観光客

防災・防犯への対応

- 自然災害が頻発、特殊詐欺やサイバー犯罪など犯罪手口の高度化・多様化、感染症への対応などリスク管理が重要

都市基盤の老朽化等

- 社会資本ストックの老朽化への対応、空き家空き地の増加
- 彦根市においても空き家数が増加傾向

地方分権と行財政改革の推進

- まちづくりにおける市民参加・協働・官民連携の促進、厳しい財政状況の中、効率的・効果的な行財政運営とともに広域連携が重要
- 彦根市は愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町の4町と湖東定住自立圏を形成し、広域連携を推進
- 彦根市は将来負担比率をみると、滋賀県市町平均、類似団体平均に比べ、将来財政を圧迫する可能性の度合いが高い状況

地球環境の変化

- ごみ減量や再資源化等循環型社会への転換、自然と共生する持続可能な社会の実現
- 彦根市においても平均気温が高まっており温暖化傾向

持続可能な社会に向けた対応

- 2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けた取組の推進

彦根市の課題・今後の取組に向けて

- まちへの愛着は高い（8割以上が「彦根市が好き」）ものの定住意向は比較的低く6割程度にとどまっている。

- これからの人口減少社会において市民は「福祉施策の充実」が重要との意向。「高齢者・障害者・子育て家庭が外出しやすい環境づくり」や「支援体制の充実」などが重要との意向。関係団体において「多世代の助け合いの仕組みづくり」、庁内においても福祉施策、高齢者の健康づくり、生きがいづくりが重要との意見。
- 市民において「安心して子どもを産み育てられる環境の整備」が重要との意向。関係団体においても「官民連携で安心して子育てができる暮らしやすいまち」、また「シチズンシップ教育に期待」などの意見。庁内においても子育ての環境整備、教育施策の充実、人材育成が重要との意見。

- 市民において「人権教育の推進」が重要との意向。関係団体においても「人権に興味をもってもらえるようなイベントに期待」との意見。庁内においても人権意識が重要で、多様性と人権を結び付けた考え方を柱のひとつに設定などの意見。
- 市民において「男女が共に能力を発揮できる働き方や職場づくり」が重要との意向。関係団体においても「国や県の動向を待たずに男女共同参画社会実現の施策を」との意見。
- 外国人市民において「地域の人などとの交流がない」が住んでいて困っていることとして最も多く、多文化共生の地域社会づくりに関して「外国語講座や交流機会など、国際理解を深めるための場の提供」が重要との意向。関係団体において「外国人を担い手と捉え、意見を反映し、市民ぐるみで交流」、庁内において「外国人労働者を地域へつなぐ」などが重要との意見。

- 市民において「趣味・教養からスポーツまで、幅広い内容の機会の提供」が重要との意向。関係団体、庁内において、「スポーツを通じたまちづくり」の推進、「現役引退世代がいきいきと地域で活躍できる仕掛け」が重要との意見。
- 市民、関係団体ともに「上質な芸術に触れる機会の充実」などが重要との意向。

- 市民において、産業に関して「地産地消の推進」「既存企業・中小企業の育成」「魅力ある商店街づくり」などが重要との意向。関係団体において「若い起業者の出店で活性化」、庁内において「起業・創業、スタートアップを促進」「AI・IT産業の誘致」「大学との連携」などの意見。

- 「歴史文化」が魅力と認識され、市民、関係団体、庁内ともに「歴史・文化資源の保存・活用」「文化・資源等の発信」などが重要との意向。あわせて豊富な観光資源を活かした観光振興が必要で、「城下町としての景観づくり」「新しい観光資源の発掘、メニューづくり」などが重要との意向。

- 市民、関係団体、庁内ともに「安全で安心なまち」を望み、「災害に強いまちづくり」に向けて市民において「災害発生時の情報収集・伝達体制の充実」や「住民同士の助け合いなど、地域住民による自主防災体制等の整備・支援」が重要との意向。

- 市民において地域医療体制の充実に関して「市立病院の機能充実」「医師等の医療従事者の確保」が重要との意向。

- 市民、関係団体、庁内ともに「公共交通環境の充実」「交通渋滞対策などの道路整備」が重要との意向。
- 庁内において、「空き家の活用」が重要との意見。

- 居住環境の評価では、「市民のまちづくりへの参加」について市民の評価は低いが、地域活動への参加意向は高く（7割以上）、「市民の取組を応援する仕組みづくり」などが重要との意向。関係団体においても「市民が交流できる場や機会」「市民活動の拠点整備」「団体間の連携・協働などが重要との意見。
- 「市民の意見が市政に反映されている」について市民の評価は低く、関係団体においても「市民と行政の協働の機会が少ない」などの意見。「きめ細かな市政情報の提供」などが重要との意向。関係団体において「協働を進めるための情報発信や相談窓口の役割を果たしたい」などの意向も。

- 市民において環境に関する評価は高く、今後も「自然環境・生物環境の保全」「ごみ減量化・リサイクルの推進」が重要との意向。

彦根市の特性（魅力）

- 市民の彦根市の誇れるところ最上位は「彦根城」、続いて「歴史、歴史的まちなみ、城下町」「ひこにゃん」。居住環境の評価では、「歴史的景観や湖岸など街並みや風景が美しい」は市民の評価が高い項目
- 小学生、外国人においても誇れるところとして「彦根城などの歴史や伝統」が上位
- 関係団体、庁内も同様に「彦根城をはじめとする観光資源、文化財が多く存在し、情緒がある」「歴史文化、観光資源が豊富にある」を魅力と認識

- 市民、小学生、外国人とともに誇れるところとして「琵琶湖や山などの自然」
- 関係団体、庁内も同様に「豊かな自然」「自然環境が良く、住みやすい」を魅力と認識

- 市民の彦根市の誇れるところとして「災害が少ない」「適度な居住環境（都会過ぎず、田舎過ぎないなど）」
- 関係団体、庁内において、あわせて「京都や大阪、名古屋へのアクセス、交通の便が良い」「3つの大学が立地し、市内に日常的に若者の姿が見られる」も魅力と認識
- 庁内では「湖東定住自立圏の中心」「昼間人口が多いこと」も特性と認識

福祉

子育て・教育

人権

男女共同参画

多文化共生

生きがいづくり

スポーツ

文化・芸術

産業

観光

歴史・文化資源

防災

医療

都市基盤

市民交流

市民協働

環境

歴史がある

観光資源が豊富

豊かな自然

適度な居住環境

結節点・交わり

今後取り組むべきポイント

人口減少・少子高齢社会において

- 市民の定住意向の向上（定住促進）
- 福祉施策の充実
- 健康づくり、生きがいづくり
- 子育て環境・教育の充実

価値観等が多様化する社会において

- 多様性を認め合う社会づくり（人権尊重、男女共同参画社会、多文化共生推進）
- 生涯活躍できる仕組みづくり（生涯学習・スポーツ・文化芸術の推進）

ICTの発達、新たな技術が進む社会において

- 新技術を活用した産業の新たな展開
- 大学等との連携
- 資源を活かした観光振興

安全・安心なまちが求められる中

- 防災・防犯の体制づくり
- 地域医療体制の充実

厳しい財政状況の中、都市基盤の老朽化への対応等、今後のまちづくりにおいて

- 交通環境の充実
- 空き家等の活用
- 市民交流・市民協働・官民連携の推進
- 行財政改革と広域連携の推進

持続可能な社会づくりに向けて

- 豊かな自然環境の保全
- SDGsの取組推進

まちの特性（キーワード）

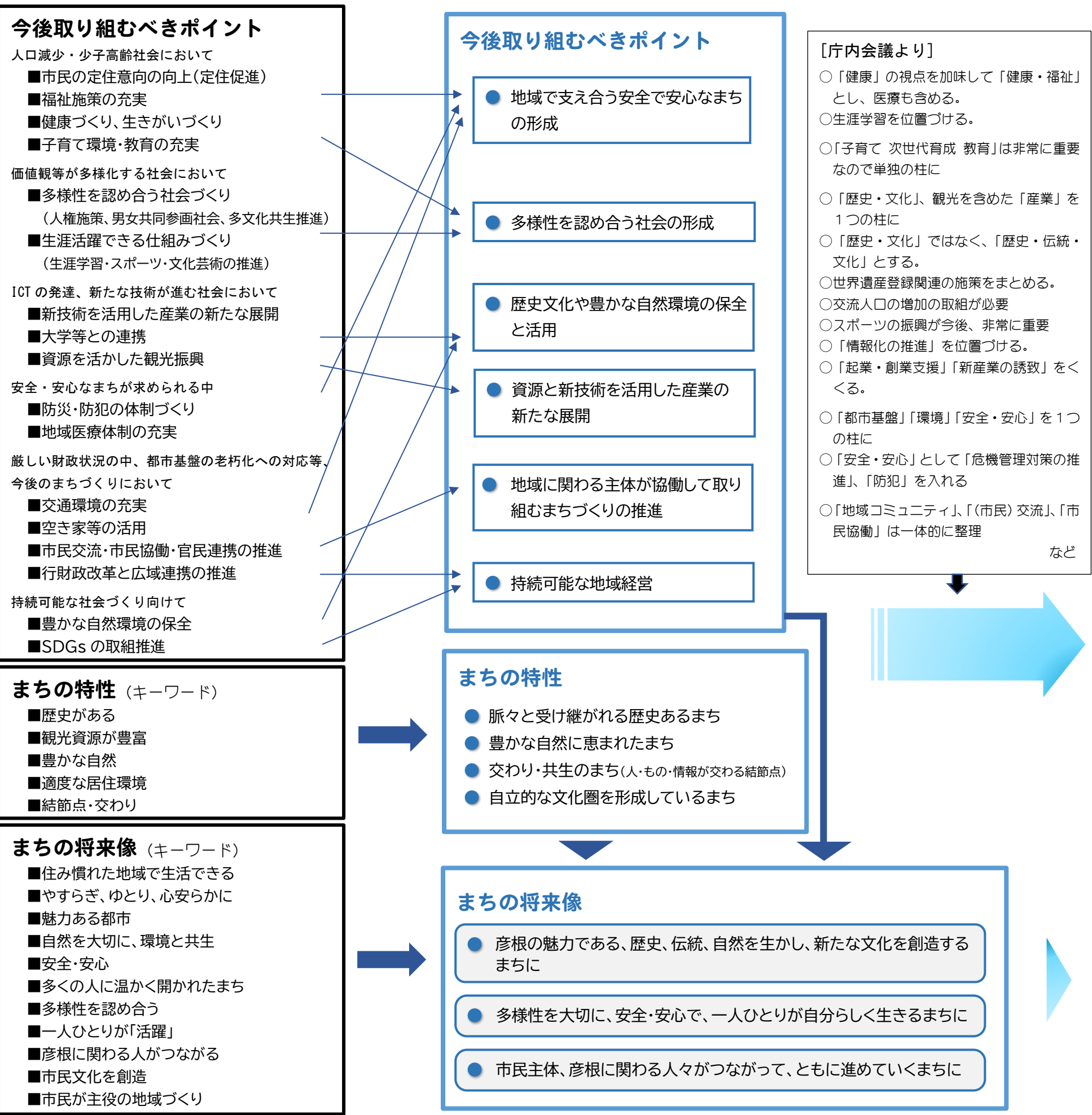
- 歴史がある
- 観光資源が豊富
- 豊かな自然
- 適度な居住環境
- 結節点・交わり

まちの将来像（キーワード）

- 住み慣れた地域で生活できる
- やすらぎ、ゆとり、心安らかに
- 魅力ある都市
- 自然を大切に、環境と共生
- 安全・安心
- 多くの人に温かく開かれたまち
- 多様性を認め合う
- 一人ひとりが「活躍」
- 彦根に関わる人がつながる
- 市民文化を創造
- 市民が主役の地域づくり

まちの将来像

- 市民はまちの将来像として「生涯にわたって住み慣れた地域で生活できるやすらぎのまち」「自然、風景、景観を大切にしたい暮らしができる環境と共生したまち」が上位（4割以上が選択）。小学生は未来の彦根市をどのようなまちにしたいかは「自然が豊かなまち」が最上位で、大人になっても住み続けたいまちは「犯罪や事故のない安心・安全なまち」「自然がいっぱいのまち」が上位。外国人はまちの将来像として「自然、風景、景観を生かした暮らしができる環境と共生したまち」「国内外を含め多くの人々に温かく開かれたまち」が上位
- 関係団体等より「安全・安心なまちづくり」「魅力ある都市、期待できるまち、住みたくなる行政施策」「ゆとりを持って心安らかに生活が送れるまち」
- 庁内では、「市民とともに市民文化を創造」「市民主体、市民が主役の地域づくり」、ゆとりや歴史があるという価値を活かし、交流人口や関係人口を増やし「彦根に関わる人たちがコミュニケーションをとって、つながりながら未来に向けて進めるまちづくり」が必要、「多様性を互いに認め合い、一人ひとりが「活躍」するまち」、その大前提として「安全で安心なまち」「快適で住みよいまち」



【資料】 市民意識調査より(評価と今後の取組に関して)

評価の全体的な傾向

重要な取組

まとめ

低

高

		今回	前回			
a	鉄道・バスなどの公共交通機関の便利 がよい	2.3	2.2	都市基盤	○公共交通環境の充実 ○産業、観光、福祉など様々な分野の連携の強化	36.5% 26.5%
b	市民の意見などが市政に反映されてい る	2.5	2.5	市政参加	○「広報ひこね」などによるきめ細かな市政情報の提供 ○要望・提言制度の活用	53.5% 36.3%
c	市民がまちづくりに積極的に参加して いる	2.7	2.7	市民交流	○市民の取組を応援する仕組みづくり ○市民による国際交流活動の推進	32.1% 26.8%
d	歩道・自転車道が整備されている	2.7	2.6			
e	高齢者・障害者・子育て家庭が外出し やすい環境が整っている	2.7	2.4	福祉	○福祉施策の充実 ○高齢者や障害者などの要介護家庭、子育て家庭への支援体制の充実	39.9% 35.5%
f	働きがいのある職場が多い	2.7	2.6	子育て・教育	○安心して子どもを産み育てられる環境の整備 ○いじめや不登校、虐待等に対する対策	45.7% 26.0%
g	道路が整備されている	2.9	2.8			
h	自治会活動などを中心に地域社会とし てのまとまりがある	2.9	3.0	生きがい	○趣味・教養からスポーツまで、幅広い内容の機会の提供 ○社会教育施設（公民館、図書館等）の機能充実	53.8% 29.2%
i	公園やスポーツ施設が整備されている	2.9	3.0			
j	図書館、博物館などの文化施設が整備 されている	2.9	3.0	文化・芸術	○子どもたちが上質な芸術にふれ、創作活動等に親しむ機会の充実 ○ひこね市文化プラザの機能充実	47.7% 35.8%
k	高齢者・障害者・子どもなどの福祉施 設が整備されている	2.9	2.8	防災	○災害発生時の情報収集・伝達体制の充実 ○住民同士の助け合いなど、地域住民による自主防災体制等の整備・支援	35.5% 33.6%
l	火事や地震、水害などに対する防災体 制が整っている	2.9	2.8			
m	信号機・ガードレールなどの交通安全 施設が整備されている	3.0	3.1	医療	○市立病院の機能充実 ○医師等の医療従事者の確保	50.4% 47.2%
n	生涯を通して生きがいに満ちたまちで ある	3.1	—	人権	○人権教育の推進 ○市民の主体的な活動の支援	41.8% 30.2%
o	医院や病院などの医療施設が整備され ている	3.1	2.6	男女共同参画	○男女が共に能力を発揮できる働き方や職場づくり（啓発など） ○地域等におけるしきたりや習慣の見直し	51.3% 36.5%
p	人権を尊び、お互いに助けあい、信頼 しあうまちである	3.2	—	多文化共生	○市役所、病院などへの通訳の配置や外国語による相談窓口の充実 ○外国人住民に向けた情報提供の充実	37.2% 32.4%
q	公民館や集会所などが整備されている	3.3	3.4			
r	学校等の教育施設が整備されている	3.3	3.3	農林水産業	○地産地消の推進 ○後継者・新たな就業希望者の育成・支援	33.1% 27.5%
s	買物が便利である	3.3	3.3	工業	○既存企業・中小企業の育成 ○技術者や研究者などの人材育成	43.8% 36.3%
t	河川・排水路が整備されている	3.4	3.0	商業	○魅力ある商店街づくり ○観光事業との連携による物産事業の振興	56.7% 43.3%
u	歴史と伝統を生かした文化的で活気あ るまちである	3.4	—			
v	ごみ処理体制が整っている	3.6	3.4	観光	○城下町としての景観づくり ○食が楽しめる彦根をテーマとした観光メニューづくり	41.1% 31.9%
w	下水道が整備されている	3.7	3.4	歴史・文化資源	○彦根城をはじめとする歴史・文化資源の保存・活用 ○城下町、宿場町のまちなみ整備	51.6% 32.8%
x	歴史的景観や湖岸など街並みや風景が 美しい	4.1	3.9			
y	水や緑などの自然環境がよい	4.2	4.1	環境	○森林や河川、湖岸など、自然環境・生物環境の保全 ○ごみの減量化や安全なごみ処理、リサイクルの推進	53.5% 31.9%

全体的な傾向として、「都市基盤」「市政参加、市民交流」「福祉」「子育て・教育」に関する取組の評価が低く、「環境」「歴史・文化資源」「観光」「産業（農林水産業、工業、商業）」に関する取組の評価は高い。

○「**都市基盤**」については、公共交通の利便性（a）、道路整備（d.g）の観点から評価が低く、**公共交通（道路交通）環境の充実**が求められている。

○「**市政参加、市民交流**」については、市政への市民意見の反映（b）、まちづくりの参加（c）、地域のコミュニティ形成（h）の観点から評価が低く、半数以上から**きめ細かな市政情報の提供の充実**が求められており、また、**市民の取組を支援する仕組みづくり**が求められている。

○「**福祉**」については、外出のしやすさ（e）や福祉施設整備（k）の観点から評価が低く、**施策全般の充実**や**支援体制の充実**が求められている。

○「**子育て・教育**」については、教育施設整備（r）の観点から一定の評価はあるが、外出のしやすさ（e）や福祉施設整備（k）の観点から評価が低く、**安心して子どもを産み育てられる環境の整備**が求められている。

○「**生きがい**」については、一定の評価はあるが、公園やスポーツ施設の整備（i）の観点で、前回調査より評価が低くなっており、半数以上から**生涯学習やスポーツの取組の内容や機会の充実**が求められている。

○「**文化・芸術**」については、文化施設の整備（j）の観点からは一定の評価があり、**芸術に触れる機会や施設機能の充実**が求められている。

○「**防災**」については、防災体制の整備（l）の観点からは一定の評価があり、より一層、情報提供や地域における**体制の充実**が求められている。

○「**医療**」については、医療施設の整備（o）の観点から一定の評価はあるが、半数以上からより一層の**病院機能の充実**が求められている。

○「**人権**」「**男女共同参画**」「**多文化共生**」については、人権を尊び、お互いに助けあい、信頼しあうまち（p）について一定の評価はあるが、「どちらともいえない」との評価も多く、**教育や啓発、情報提供の取組**が求められている。特に半数以上から、**働き方・職場における男女共同参画**が求められている。

○「**産業（農林水産業、工業、商業）**」については、職場（f）の観点で評価は低い、まちの活気（u）の観点から評価は高く、より一層の**地産地消、企業の育成の取組**が求められている。特に半数以上から、**魅力ある商店街づくり**が求められている。

○「**観光**」「**歴史・文化資源**」については、美しい景観（x）の観点から評価は高く、より一層の**景観づくり**が求められている。特に半数以上から、**歴史・文化資源の保存・活用の取組**が求められている。

○「**環境**」については、自然環境（y）、ごみ処理（v）の観点から評価は高く、半数以上から、より一層の**自然環境・生物環境の保全**が求められており、また、**ごみ減量化の取組**が求められている。

※数値は、「そう思う」を5、「どちらかといえばそう思う」を4、「どちらともいえない」を3、「どちらかといえばそう思わない」を2、「そう思わない」を1として算出した平均値。

※各分野についての「今後重要な取組」に関する設問における上位2項目及びその回答者割合。

【参考①】関係団体より(課題と今後の取組について)

〔関係団体の意向〕

○「都市基盤」

改善点) 渋滞が多い、公共交通が充実していない、公共施設の整備が遅れている、空き家空き店舗の活用が十分ではない、サイン等の多言語化・ユニバーサルデザインが進んでいない
今後の取組) 交通渋滞対策、道路整備等のインフラ整備、ＪＲ稲枝駅西側再開発の早期実現

○「文化」

改善点) まちの魅力・文化・資源等が国内外に十分に発信されていない
今後の取組) 市民が利用しやすいよう彦根城博物館の開放、彦根の文化・芸術を全国・世界に発信、トップレベルの本物の文化・芸術に触れることができるように

○「観光」

改善点) 多くある観光資源が活かしきれていない、新しい観光資源が発掘されていない、訪問者の宿泊施設が少ない、彦根駅から彦根城までの楽しみながら歩ける仕掛けがない
今後の取組) まち全体が観光都市になるように、彦根駅から彦根城までの道のりの整備・充実

○「産業」

改善点) 中心市街地・商店街が寂しい、行政と大学、民間との連携が不十分
今後の取組) 若い経営者（起業家）の出店で活性化、民間の取組への行政の積極的関与

○「人権」

改善点) 人権に関するイベントが形骸化
今後の取組) 人権に興味をもってもらえるようなイベントに期待

○「男女共同参画」

今後の取組) 国や県の動向を待たずに男女共同参画社会実現の施策を

○「多文化共生」

今後の取組) 外国人を担い手と捉え、外国人市民や外国人観光客等の視点・意見を反映、市民ぐるみで外国人との交流

○「生涯スポーツ・生きがい」

今後の取組) 市民体育センターの建設整備推進、スポーツを通じた健康で魅力あるまちづくり、現役を退いた年代の方々がいきいきと地域で活躍できる仕掛け、多世代の助け合いの仕組みづくり

○「子育て・教育」

今後の取組) 将来の彦根を担う人材像の設定が必要、シチズンシップ教育に期待、保育の無償化に伴う保育等の様々なニーズ対応、官民の連携で安心して子育てができる暮らしやすいまち、虐待防止策の一環として家庭訪問型子育て支援、将来の人材育成として子どもたちの教育・健全育成には予算を

○「市民交流」

改善点) まちづくりに関係する団体の情報交換・交流や出会いの場がない、地域活動や地域団体の運営における新しい改革に抵抗感を持つ方が多い
今後の取組) 彦根市民が一堂に集える場所や機会、空き家を活用した市民活動の拠点整備、彦根市やその他の団体との連携・協働、他の団体と連携したイベント企画、関連分野の事業への参加・協力・連携の意向

○「市民参加」

改善点) 市民と行政が一体となった話し合いの場等が少ない、行政と市民との協働の機会が少ない
今後の取組) 行政や市民活動の協働を進めるための情報発信や相談窓口としての役割を果たしたい、彦根市と一緒に今後の方向性を協議し具体的な連携を図りたい、強みを生かし合い共通の思いをもってまちづくり推進

【参考②】庁内の意見(課題、今後の方向性等について)

〔市長ヒアリングより〕

- 地の利を活かして**交流人口を増やし**つつ、地域の発展を考えていく必要がある。
- 生き残るためには**変化していかなければ**ならない。そうした「文化」を作っていかなければならない。「文化は戦略に勝る」と言われる。**地域との文化、市民とともに市民文化を創造**していく必要がある。**市民主体、市民が主役の地域づくり**を進めていく必要がある。**彦根に関わる人たちがコミュニケーションをとって、つながりながら未来に向けてまちづくりを進めていくことが大事**。地域力を活かすことが大切。
- いろいろ取り組むべきことがあるなかでは、「**教育**」と「**福祉**」が大切だと思う。何より一番重要なのは、「**安心**」。**安心して生活できることが大切**。とにかく生きていく上で必要な学力、生きる力をつけることが重要である。信頼が安心につながる。
- 知的産業やサービス業、観光分野などの大きな流れをつかんでいくための準備**しておくことが大切で、官民が協力してやっていくことが大事だと思う。**大学との連携強化**も大切だ。
- 多様性**をもっと潜在力として認識して、個々の良さを活かしていくことだと思う。そのためには**人権意識**が大事で、**互いに認め合うことが大切だ**。多様であるからこそ社会が成り立ち、同質化、均質化していくと衰退に向かう。
- この地域は、いろんな意味での**結節点**であり、次の時代に向かって発展し、新たな核になる必然性がある。今起きている変化は、その必然性が具体化されてきたということだ。先人が努力してきたからこそ、今の豊かさがある。
- 彦根市の持つ**ゆとりや歴史があるという価値**がアピールしていける時代だと思う。
- 市民と共有できるわかりやすい計画にしていける必要がある。ひとりでも多くの方が安心して意識を共有できるような計画にしていければと思う。

〔庁内会議より〕

- 交流人口や関係人口を増や**して、その人たちをまちづくりの担い手と位置付けることは重要
- 「**活躍**」がキーワードになってくる気がする。活躍していただくためには、**快適で住みよいまちづくり**をしていく必要がある。そうすると「**安全・安心**」もキーワードになってくると思う。
- 地域が活性化していかないと彦根が大きくなっていかないとと思うので、**人づくりから人を発見し、つながっていく**という部分をもっと大事にしていかなければいけない
- 市民が**安心して生活できる場**がちゃんと確保されていることが大前提
- 市民と共に市民文化を創造**していくことがひとつの柱になる。
- 「**安全で安心なまち**」
- 市民と共有できるわかりやすい計画、彦根らしい計画に。彦根市の強み・魅力を出すことによって、彦根らしい計画になっていくのではないかな
- 行政はいろいろやっているが、それを市民にしっかり周知できていない、伝わっていない
- 空き家の利用**について、行政と民間がひとつになって進めなければならない事業だと思っている。こうすることで、彦根らしいまちづくりができるのではないかな
- 子育ての環境整備**や**介護の環境整備**、**すべての子どもが教育を受けられるような環境整備**などが重点的に必要、**人材力の活性化**をしっかりと図っていくことも大事
- 「**多様性**」を「**人権**」と結び付けて柱立てのひとつに組み込んでもらえれば。「水と緑の美しいまち」から「**環境**」に関する柱立てを入れていただきたい
- 高齢者の健康づくり**、**生きがいづくり**をはじめとする高齢者対策に重点を置く必要があると思う。健康寿命の延伸ということもあり、「**健康**」もキーワードとしてまとめていく必要がある
- 大学や民間と連携して、インキュベーションオフィスなどを設置して、**起業・創業、スタートアップを促進**していくことが重要である。**外国人労働者とうまく付き合う**、地域とつなげていく仕組みが今後必要になってくるのではないかな。**企業誘致として**は、**AI・IT産業**が今後の主流になってくる。AI・IT産業は、場所をとらないので、誘致にあたっては、**周辺の自然や地域文化などの環境をPR**して進めていくと良いのではないかな
- 高齢者が安心して暮らせる環境づくり**を推進していくことが必要。地域の横のつながりが希薄になるということが考えられる。そういう面から、「安心・安全」の施策の推進が今後も重要
- 人材育成、人を育てる**といったことが市の振興には不可欠だ。**教育**を中心として、更に一層力を入れていくべき
- 「**税収の確保**」の観点から「**労働人口の維持**」も大事だと思う。**子育て世代をターゲットにした施策**も積極的に織り込んでいく必要がある。重点的に取り組んでいければと思うのは、**教育施策**、**福祉施策**、**産業施策**。**スポーツ振興を通じたまちづくり**についても計画にしっかり入れていきたい。
- 災害に強いまちづくり**
- 主体的・自立的にキャリアを切り開いていけるための能力を身につけて、自分を更に高めていけるような人材を育成することが言われている。そのために必要なことは、まず「**安全・安心**」がベースだと思っている。また、SDGsにもあるが、「**人権**」「**環境**」の点についても配慮が必要
- テーマでコンセプトを説明していくような柱立てが必要ではないかな

〔若手職員ワークショップより〕

「彦根市の弱み(課題)」

- 交通渋滞や道路整備、移動手段など、市内の交通環境が充実していない。
- 観光客（リピーター）が少ないことや観光地が一極集中していることなど、まちの魅力の観光への影響・効果が少ない。
- 子ども・若者が少なくなっている。
- 商店街や地場産業の元気が乏しい。
- まちの空き家化が進んでいる。
- 市の財政状況が悪い。

〔大きな方向性〕

- 観光振興など、たくさん人が訪れるまちづくり
- 市内の交通網整備や移動手段の充実など、市内を移動しやすいまちづくり
- 子育てのしやすさなど、市民生活の向上

〔重点的な取組のテーマ〕

- 歴史の保全・活用
- 子育て支援・福祉の充実
- 産業振興
- 空き家を活用した子育て支援・定住促進